



# 若者に選ばれるまち プロジェクト研究

## 暮らしやすい未来都市・茅野の構築

参加者  
募集

「若者に選ばれるまち」の実現及び地域課題・社会課題の解決に関する新規事業を構想し、「暮らしやすい未来都市・茅野の構築」を目指します。

自社の新事業を茅野でカタチに!

定員 7名

※募集人数を超える応募があった際には、選考とさせていただきます。なお、募集人数のほか、茅野市職員が3名程度参加し、10名程度の参加人数となります。

若者に選ばれるまち～暮らしやすい未来都市・茅野の構築～プロジェクト研究では、

- 第2次茅野市地域創生総合戦略に資する、自社の新規事業を構想します。
- 事業の根本からアイデアを発想し、理想となる事業構想を構築します。
- SDGs や DX など最先端分野の有識者から得られる知見とともに社会変化を洞察し、新たな顧客価値を創造します。
- 異業種の企業やパートナーとの知の共有・探索や、コラボレーションによる事業創出活動を実現します。
- 7ヶ月間（2022年9月～2023年3月）の研究会を通じて気づける素養を磨き、価値創造を担う人材を育成します。

参加費 無料

※本プログラムは、茅野市への企業版ふるさと納税を財源として開催されます。企業版ふるさと納税(地方創生応援税制)とは、地方自治体による地方創生事業に対して、民間企業からの寄付を活用する制度です。

プロジェクト期間 2022年9月～2023年3月(全20回)

会場 KITZ Group イノベーションセンター/ワークラボ八ヶ岳/オンライン

- 対象
- 自社の経営資源や自身の技術を活用して、暮らしやすい未来都市・茅野の構築に資する新事業の創出を目指す企業等
  - 新分野展開や、新たな収益の仕組みづくりを検討している企業等 ※業種や企業規模は問いません。
  - 人脈や技術など、自社の経営資源を再定義し新事業を創出したい方
  - 今後、社内の中核となっていく幹部候補の方
  - 茅野市をよりよくしたいという熱い想いを持っている方 など

主催 茅野市、事業構想大学院大学 事業構想研究所

申込期限

2022年

8月19日(金)

申込書類必着

事業構想大学院大学とは

新事業の開発を目的としたカリキュラムを実施する大学院大学。教授陣がイノベーションに関する豊富な知識や方法を提供し、事業評価や計画を精緻に策定します。顧客開発や経営・構想計画について学び、経営資源を活用した実現性と独自性の高い事業計画を構築します。

説明会開催

下記の日程にて、説明会を開催します。本プログラムの特徴や、概要、申込方法などについて、ご紹介いたします。

- 8月2日(火) ワークラボ八ヶ岳 17:00～18:00、19:00～20:00
- 8月5日(金) オンライン開催 19:00～20:00
- 8月9日(火) オンライン開催 14:00～15:00

参加申込は  
WEBから



<https://www.mpd.ac.jp/events/chinoproject/>

※募集要項詳細はこちらをご覧ください。

本プログラムに関するお問い合わせ先



学校法人 先端教育機構

事業構想大学院大学 事業構想研究所

「若者に選ばれるまちプロジェクト研究(茅野市)」担当

TEL: 03-6278-9031 E-mail: pjlab@mpd.ac.jp

# 若者に選ばれるまち プロジェクト研究

暮らしやすい未来都市・茅野の構築

自社の新事業を茅野でカタチに!

参加費 無料

参加者  
募集

「若者に選ばれるまち」の実現及び  
地域課題・社会課題の解決に関する新規事業を構想し、  
「暮らしやすい未来都市・茅野の構築」を目指します。

## MESSAGE



茅野市長  
いまい あつし  
今井 敦

茅野市では、第2次地域創生総合戦略において「若者に選ばれるまち」の実現を目標に掲げ、また、「暮らしやすい未来都市・茅野」を横断的施策として位置づけ、市民が便利で暮らしやすさを実感できる新たなサービスの展開と、付加価値の高い新たな産業と雇用の創出を目指しており、本年4月には、国の国家戦略特区である「デジタル田園健康特区」にも指定されました。さらに、本年度を当市の「DX元年」とし、「たくましく やさしい しなやかな 交流拠点 CHINO」に向け、デジタル等の先端技術を活用して、人口減少社会においても便利で暮らしやすいまちを維持し、発展させていくための新たなまちづくりを本格的にスタートしてまいります。今後、経済社会が大きく変革していく中で、企業や社会が持続的に発展していくためには、地域課題や社会課題の解決を担う人材の育成が不可欠です。「若者に選ばれるまちプロジェクト研究」で、事業構想大学院大学の体系的なカリキュラムで、多彩な研究員・教員と共に学び、新規事業を研究しましょう。若者に選ばれるまち茅野市を創る皆様のご応募をお待ちしています。

## 研究会趣旨

持続可能な経営のためには新事業の創出やビジネスモデルの変革が不可欠となっています。気候変動やデジタル技術の革新など社会が大きく変容するなか、社会を見据え、多様化する顧客ニーズに合わせた新たな価値創造が求められます。7ヶ月の研究会を通じて価値創造を担う人材を育成します。

## 事業構想計画書

参加者は、プロジェクト研究や大学院カリキュラムを活かした構成で、定例研究会を中心に個別指導を受けながら、各研究員が自社の事業構想計画を策定します。

## 多彩な人的ネットワーク構築を支援

必要に応じてゲスト講師をプロジェクト研究に招聘し、新事業創出に必要なインプットを行います。また、年間約40回、事業構想大学院大学院生を対象に行っている、多様な分野のスペシャリストをお招きして実施する事業構想スピーチへも参加可能です。さらに、事業構想大学院大学の教授陣による個別フィードバックや、研究員同士が議論を重ねる中で、外部の専門的な視点を取り入れながら、各自の事業構想計画をブラッシュアップすることができます。

## 「研究員」としての資格を付与

参加者には、事業構想大学院大学 事業構想研究所の「研究員」としての資格を付与します。社会的に中立な研究員という立場として、ヒアリングやフィールドリサーチを行い、ネットワークを構築することができます。また、担当教員や本学教員への個別相談をはじめ、図書館、電子書籍、オンラインデータベースの利活用、アーカイブ視聴、メディア利活用等、研究から事業構想計画に必要な環境を利用することができます。

## メディアプロモーション支援

優れた成果は月刊事業構想をはじめメディア掲載し、プロモーションを支援します。

## 事業構想大学院大学について

「知の実践研究・教育で、社会の一役を担う。」を理念に、新規事業の開発と構想計画を考える人材を育成する、社会人のための大学、事業構想大学院大学。2012年に開学し、現在では、東京・仙台・名古屋・大阪・福岡に開校。事業構想研究所が主催するプロジェクト研究では、地域や企業の資源を活かした数々の事業が創出されています。

## 担当教員



しもぢら たかや  
下平 拓哉 事業構想大学院大学 教授

防衛大学校卒業、アメリカ国防総省アジア太平洋安全保障研究センター・エグゼクティブコース修了、政治学博士、元海将補

専門は、戦略、危機管理、リーダーシップ。防衛の「現場」と安全保障の「学術」の融合を信念に、30年以上に亘る防衛の最前線における勤務

日本人初のアメリカ海軍大学（大学院相当）客員教授として教鞭を執ったとともに、防衛省防衛研究所主任研究官として政策シミュレーションに関与した経験を有する。日本危機管理学会常任理事、東海大学平和戦略国際研究所客員教授、愛知工科大非常勤講師、江戸川大学非常勤講師、国士館大学政治研究所特別研究員、日本戦略研究フォーラム上席研究員

著書『日本の安全保障－海洋安全保障と地域安全保障－』（成文堂、2018年）  
『日本の海上権力－作戦術の意義と実践－』（成文堂、2018年）  
『アメリカ海軍大学の全貌』（海電社、2017年）

本プログラムに関するお問い合わせ先



学校法人 先端教育機構

事業構想大学院大学 事業構想研究所

「若者に選ばれるまちプロジェクト研究（茅野市）」担当  
TEL: 03-6278-9031 E-mail: pjlab@mpd.ac.jp